2025年８月８日

各位

会社名　　クラスターテクノロジー株式会社
代表者名　代表取締役社長　安達　良紀
（グロース・コード番号4240）
問合せ先　取締役管理本部長　駒井　幸三
（TEL：06-6726-2711）

2026年３月期　第２四半期（中間期）及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年５月15日に公表いたしました2026年３月期第２四半期（中間期）及び通期個別業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2026年３月期第２四半期（中間期）個別業績予想数値の修正（2025年４月１日～2025年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	581	51	53	42	7.55
今回修正予想（B）	642	80	82	67	11.86
増減額（B-A）	61	29	29	25	
増減率（%）	10.5	56.9	54.7	57.2	
（参考）前期第2四半期（中間期）実績（2025年３月期）	439	20	21	16	2.81

2026年３月期通期個別業績予想数値の修正（2025年４月１日～2026年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	1,144	111	114	77	13.53
今回修正予想（B）	1,205	140	143	92	16.33
増減額（B-A）	61	29	29	15	
増減率（%）	5.3	26.1	25.4	20.7	
（参考）前期実績（2025年３月期）	1,022	108	110	100	17.68

＜業績予想修正の理由＞

当事業年度第２四半期（中間期）の売上高は、ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業については、全ての分野で当初予想に比べ、おおむね順調に推移する見通しです。特に産業機器分野は、産業用インクジェットプリンターヘッドや金型の売上高が伸び、期初予想を大幅に上回る見通しです。マクロ・テクノロジー関連事業についても、前期後半以降の回復基調が継続し、当初予想を上回る見通しです。その結果、全社の当事業年度第２四半期（中間期）の売上高予想を上方修正いたしました。

同利益は、売上高が予想を上回って推移する見通しや工場の高稼働率の継続並びに利益率が高い製品の寄与等を勘案し、全社の同利益予想を上方修正いたしました。

なお、当事業年度下半期の業績予想につきましては、トランプ米政権による関税により、国内製造業への影響が懸念され、緩やかに続いてきた日本経済の回復は、正念場にあるとの見方も出ております。また今夏の参議院選にて、自民・公明両党が衆参両院で少数与党となり、今後の政局が不安定になることが予想されます。

当社といたしましては、現時点で2025年５月15日に発表しました当事業年度下半期の業績見通しを据え置き、今後の状況を勘案した上で、通期の業績動向を検証し、必要に応じて適時開示してまいります。

従いまして、通期業績見直しは、第２四半期（中間期）修正予想と当初予想の下半期の業績予想を合計し、当期純利益を再計算しております。

以上